

- 1 審議会名.....平成29年度 第1回安曇野市放課後子ども総合プラン運営委員会.....
- 2 日 時.....平成29年10月12日 午後6時30分から午後8時20分まで.....
- 3 会 場.....安曇野市役所本庁舎 3階 306会議室.....
- 4 出席者.....百瀬委員、戸塚委員、大林委員、伊藤委員、山崎委員、臼井委員、山岸委員、瀧間委員、三好委員、中嶋委員、堀内委員、上兼委員、松澤委員、大月委員、永野委員、百瀬委員.....
- 5 市側出席者.....橋渡教育長、蓮井生涯学習課長、松岡社会教育担当係長、土屋副主幹.....
- 6 公開・非公開の別 公開.....
- 7 傍聴人 0 人 記者 0 人.....
- 8 会議概要作成年日 平成29年10月12日.....

協 議 事 項 等

1、会議の概要

- 1 開 会 担当課長
- 2 委嘱書交付 教育長
- 3 教育長あいさつ
 児童クラブについて平成28年に全国の利用者が100万人を超えたとのことである。
 また、類似した放課後子ども教室を統合したものが放課後こども総合プランである。
 安曇野市では児童クラブを小学校の余裕教室を利用して実施していく計画である。穂高西小学校でこの4月に実施が開始され、新年度において豊科南小でも開始を予定している。
 本日、ご出席いただいている皆さんはその方面に明るい方が多いので、ぜひいろいろなご意見をいただきたい。
- 4 自己紹介
- 5 会長の選出
 委員 事務局案があればお願いしたい
 担当係長 事務局案として百瀬委員を推薦したい
 委員 委員の皆様方のご協力のもと円滑な運営を実施したい。
- 6 協議事項
- 議事の概要

《事務局より資料の説明》

- (1) 放課後子ども総合プラン事業について
- (2) 平成29年度放課後子ども教室について
- (3) 平成29年度放課後児童クラブについて

委員	放課後子ども教室については6年生まで利用可能だが、児童クラブについて4年生までと制限している理由をご説明いただきたい。
事務局	国の法改正により現在6年生まで受け入れが可能であり実施している自治体もあります。安曇野市では受け入れ場所がないため4年生までとしている。今後拡充することも検討する。
委員	今後、児童クラブとして学校の余裕教室の利用とのことであるが、今年度運用を開始した穂高西小学校の児童クラブについては開所までに大変な困難があった。 児童クラブの目的は、保護者にとっては就労支援、子どもにとっては生活と遊びの場所となっていますが、穂高西小学校の児童クラブについては、保護者会の強い要望により実現した経過があります。 その際に、保護者の子どもの安全、安心を切望する思いを感じた。 実施に当たっては、保護者の意見をくみ取っていく必要があると感じている。 今後新たな児童クラブを実施する場合は関係各所と綿密な協議をし、合意形成等のプロセスを踏んでいかなければ良いものとならないので、今後ご配慮いただきたい。 新年度南小学校の児童クラブの運営を予定しているが、同様に保護者等にご配慮いただきたい。
会長	関係するご意見があったらどうぞ。
委員	学校教育としての立場がでは、学校ははじめや厳しさ、自立を学ぶ場所であり、児童クラブは家庭的な居心地の良さを求められ家庭的な場所である。 求められる内容が相反するものであるが1つの建屋の中でどうすみ分けていくのかが求められる。
委員	少子化により児童数が減少し空き教室がある学校もあるが、全ての学校で余裕教室が確保できるわけではないと思う。 余裕教室が確保できない学校については、今後どのように対応していくのか。
事務局	学校と協議して教室を都合していただいている。 穂高北小学校、豊科東小学校については以前から余裕教室を利用して児童クラブを実施している。 児童クラブすべてを学校内に設置するという趣旨のものではない。 今後、よりたくさんの児童を受け入れる場所として、学校の余裕教室の利用を検討している。
委員	学校内の児童クラブ室は普段授業で児童が利用することはないのか。
委員	穂高北小児童クラブは10年前まで農協の2階を利用していた、現在の児童クラブを立ち上げる際は、放課後、学校敷地内で児童を預かっていることに対する学校側の不安があり、関係各所と話し合いを重ね細かいことを詰めて運用を開始となった。
事務局	学校外にある児童クラブは、学校から移動する際の安全を担保できない。 また、学校に余裕教室がある場合は、国のガイドラインに基づき余裕教室の利用を進めていきたい。 今後、協議を重ねていきたい。
委員	豊科東に限ってみると、校内に児童クラブがあるため保護者的には安心である。 児童クラブと学校生活の棲み分けについてはトイレ、遊具は学校の施設を利用している。 学校の立場としては、児童クラブの時間に児童が児童クラブ以外の施設に入ってくることもあるが、学校の施設を徹底し、学校側、児童クラブ側の職員がお互い配慮し合って良好な関係を築いている。 既に運用が始まっている余裕教室の実績からケーススタディーし、良いものにしていけばどうか。

《事務局より資料の説明》

(4) 今後の児童クラブ整備年次計画（案）について

委員	児童クラブの整備計画については記載のある年度で工事を実施するのか。 それともその年度に児童クラブの運用を開始するのか
事務局	予算措置の状況により流動的であるが、豊科南小学校の児童クラブについては今年度工事を実施し、来年度から運用を開始する予定である。
委員	計画の内容が非常に短期間に詰まっていたため確認させていただいた。 今後、余裕教室を活用した児童クラブの運営が急速に進んでいくと理解している。 数年前には高家児童館については豊科中央児童館と統合し、建設の計画があったが、現在立ち消えてしまっていると伺っている。 本日は、高家児童クラブの保護者代表も参加しているが、過去の計画もとん挫したような状況で、今回提示された計画が順調に進むのか、また、何ら説明の無いまま、新しい計画を提示され、職員も保護者も戸惑っている。
委員	児童クラブの新年度スタートについてPTA等に周知がされているのか。 また、豊科南小学校については児童数が増加する中で余裕教室が確保できるのか。 また、予定している豊科南小学校児童クラブ室についても普通学級の並びにあり、学校生活との棲み分けをするうえで場所が不適當ではないのか。 今後、児童クラブと水曜日の放課後子ども教室の棲み分けをどのようにしていくのか。 学校、保護者との十分な協議はなされているのか。 既存の高家児童館があるのに児童クラブを学校内に整備していく必要があるのか。
事務局	高家児童クラブについては、学校からの移動距離が長く、不安がある。 学校との協議を重ね、余裕教室の利用を予定している。 他の普通教室の棲み分けのため、仕切りの整備を計画している。 学校施設は、十分に活用したいと考えている
委員	穂高西小学校児童クラブについては、専用の部屋として利用させてもらっている。 今回の豊科南小学校児童クラブについては、2階に男女共用のトイレがあり、4年生まで共用利用は不適當であるため、男女いずれかは1階のトイレの利用を想定しているが、保護者への周知、意見の吸い上げは全くされていない。 穂高西小学校については、十分に保護者との協議を重ねて運用に至った。 そういった合意形成は時間をかけ、納得のいくまで話し合いを重ねる必要がある。 市側には新年度の運用開始が必要かということを投げかけてある。 現在の高家児童館をしばらく継続利用し、話し合いを重ね保護者の合意を得てから場所の選定、工事、運用の手続きをした方が良いのではと受託側として感じている。
事務局	今後、社協さんと運用について協議してから、保護者への説明は今後させていただく。
委員	児童クラブで6年まで受け入れを想定した場合の見込みについて資料をご用意いただきたい。少子化により児童数が大幅に減る中で、地域により状況にバラつきがあるが、それほど児童クラブの拡大は必要ないのではないのか。 そういった予測を数値化して提示いただきたい。
事務局	今後の児童クラブの需要を数値化した予測は非常に推計が難しい。 安曇野市の入所基準について、県内の状況を調べるとかなりハードルが高いところがあり、学年を上げる前に是正する必要があると考えているが、見込みが立てづらく一度に是正することができないでいる。 しかしながら、児童クラブの今後の需要については、少子化の中、共働き世帯が増え保育園の入園者数が増加することから推計すると、今後減少することは予測しづらい。
事務局	資料については、何らかの形で用意させていただく。

《事務局より資料の説明》

(5) 今後の児童館整備年次計画（案）について

委員	現在児童館で児童クラブの事業を実施しているのが大半である。 特に夏休みになると児童館事業よりも児童クラブとしての活用となる。 本来、児童館は地域のお子さんの遊び場であるが、児童クラブとして利用されている。 設備についてはバラつきがあり、十分ではないので児童館としての十分な整備を運営側として要望していきたい。
委員	近くの児童館に来館するとそれほど賑わっている感じを受けない。 立て替えをして、充実させる必要性をあまり感じない。
事務局	お話をいただいている児童館については、児童クラブを実施していない児童館で、自由来館がそれほど少ない児童館ではない。
委員	地域の子どもたちが遊べる場所として、整備していきたいと考えている。
会長	他になければ「その他」として何かあればお願いしたい。
委員	児童クラブについて、最近閉館時間を過ぎても迎えに来ない保護者が増え、運営側として苦慮している。そのような状況は全国共通の課題であるので、今後対応を検討していただきたい。
会長	以上をもちまして閉会とする。